

⑤ 臨床情報・病理検体の送付についてのお願い

(お願い) 外来受診日までに、以下の臨床情報と病理検体を広島大学病院遺伝子診療科宛に送って下さい。

・送付いただくもの

1) 患者情報

- 診療情報提供書 (原本)
- ①保険適用チェックリスト (原本)
- ④C-CAT1 章・2 章データ (原本)

2) 血液検査、画像検査関連

- 血液生化学検査、腫瘍マーカー (過去 3 カ月分程度)、ゲノム検査 (MSI など) などのデータ
- 画像検査の CD-R (過去 3 回分程度) と画像検査報告書

3) 病理検体関連

- 病理診断報告書
 - ホルマリン固定パラフィン包埋 (FFPE) 検体*
- ※がん遺伝子パネル検査では腫瘍細胞量が必要なので、ブロックをなるべく多めに送付してください。
- HE 標本スライド (上記同一検体からのもの)
 - 病理検体貸出票 (紹介元医療機関で規定のものがあればお願いします)

以上を同封してお送りください

*ホルマリン固定パラフィン包埋 (FFPE) 検体についての注意事項

1. FFPE 検体が複数ある場合には、なるべく新しい検体が推奨されております。FFPE 検体の核酸品質は経年劣化することが明らかとなっており、作製後 3 年以内の FFPE 検体の使用が望ましいという実証データ (参考資料) があります。(NGS 解析用には、ホルマリン濃度、固定時間、脱灰の条件なども重要)
2. 症状の進行に影響を与える病巣 (原発巣より転移巣など) の検体をお勧めします。
3. 検体を受け取り次第、借用書をお送りします。検査会社による核酸のクオリティチェックが終了するまで、検体をお預かりさせていただきます。(検査提出からおよそ 1 カ月半~2 カ月程度)

<参考資料> 日本病理学会「ゲノム診療用病理組織検体取扱規程」

http://pathology.or.jp/genome_med/pdf/textbook.pdf

〒734-8551

簡易書留

広島市南区霞 1-2-3

広島大学病院 遺伝子診療科

檜井 孝夫 宛

「がんゲノム医療外来書類・検体在中」

取扱注意

【郵送先及び連絡先】

〒734-8551

広島市南区霞 1-2-3

広島大学病院遺伝子診療科

がんゲノム医療外来

TEL : 082-257-5965

FAX : 082-257-1762

hucgc2019@hiroshima-u.ac.jp